

旭川大学経済学部教員 研究業績一覧

2002年1月～12月

浅田政広

【論文】

- 「戦後金融改革と札幌の金融」、『新札幌市史』第5巻通史5（上）、3月
 「高度成長と金融システムの変容」、同上
 「札幌の鉱業」、同上

小野崎保

【論文】

- 「地域産業連関表による旭川市経済の分析」、『貯蓄経済理論研究会年報』第17巻、2月〔共著〕
 "Monopoly, Oligopoly and the Invisible Hand", Discussion Paper Series No. 32, Chuo University, November 〔共著〕

【調査報告書】

- 『動物園が地域経済に及ぼす影響—旭山動物園および園内施設整備にかかる経済波及効果分析報告書—』、旭川市、3月〔単著〕

【学会発表等】

- "Stability, Chaos and Multiple Attractors: A Single Agent Makes a Difference", 日本経済学会2002年度春季大会、小樽商科大学、6月
 "Monopoly and Oligopoly Led by an Invisible Hand", The 6th International Conference on Complex Systems、中央大学、9月
 "Stability, Chaos and Multiple Attractors: A Single Agent Makes a Difference", The 3rd International Conference on Discrete Chaotic Dynamics in Nature and Society、中央大学、9月
 「非線形経済動学の可能性」、応用数理学会、慶應義塾大学、9月
 「非線形経済動学の可能性」、進化経済学会非線形問題研究部会、中央大学、12月

姜興起

【論文】

- "A New Approach to Objective Bayesian Analysis", 『旭川大学紀要』第53号、6月（単著）

佐々木悟

【論文】

- 「道北に展開する牛肉トレーサビリティ確保とHACCP農場」、社団法人北海道地域農業研究所奨学寄附成研究報告書『道北地域における産業・経済及び活性化に関する基礎的研究』、市立名寄短期大学道北地域研究所、3月
 「牛肉トレーサビリティと肉牛牧場のHACCP」、『旭川大学紀要』第53号、6月
 「トレーサビリティとHACCPによる牛肉リスク管理の現状と課題」、『農業市場研究』第11巻、12月

【学会発表等】

- 「米・豪の牛肉輸出戦略と安全性による国産牛肉消費・需要拡大戦略」、しほろビーフ・フォーラム『求められる産地の牛肉つくり』基調報告、JA士幌町農協記念館、1月
 「フードシステムにおける安全性・環境問題」、北海道フードシステム研究会第3回大会基調報告、北海道大学、1月
 「道北地域に展開する牛肉トレーサビリティ」名寄短期大学地域研究所『道北地域における農林水産業の再編方向に関する調査研究中間報告』、名寄短期大学、2月
 「トレーサビリティと農畜産業の対応」、第103回北海道農業経済学会大会、北海道大学、3月
 「食品の安全性と品質表示」、2002年北海道科学シンポジウム『再考：食の安全』、北海道大学、

5月

- 「トレーサビリティとHACCPシステム」、日本農業市場学会2002年度大会、山形大学、6月
「トレーサビリティ構築とHACCPによる安全性管理」、第14回総合学術研究集会『人間と地球の未来を考える』、北海道大学、9月
「安全性訴求と産地ブランド化」、第104回北海道農業経済学会大会、釧路公立大学、10月
「生鮮食品流通とリスク管理」、日本流通学会第16回全国大会、中央大学、11月
「地域のHACCPシステムと特産品差別化戦略」、平成14年度日本商業学会北海道部会研究会、KKR札幌、11月

出 羽 寛 【論文】

- 「北海道、道北南部のコウモリ類の分布と生息環境」、『旭川大学紀要』第54号、12月(単著)
「農耕地におけるネズミ類の分布と孤立林の利用形態」、『哺乳類科学』42巻、12月(単著)

【学会発表等】

- 「道央、旭川周辺におけるコウモリファウナ研究の現状」、日本哺乳類学会2002年度大会関連、東洋蝙蝠研究会シンポジウム
『北海道におけるコウモリ相研究、およびその保護に関する現状』、富山大学、10月
「身近な自然と市民生活」、旭川大学地域研究所シンポジウム『大雪山・十勝連峰と周辺地域の観光を考える』旭川大学、2月

野 田 英 雄 【論文】

- "Human Capital and Long-Term Economic Growth in East Asian Region: Theory and Cross-Country Evidence,"『旭川大学紀要』第53号、6月(共著).
「内生的成長モデルによるイノベーションと人的資本の理論分析」、『九州経済学会年報』第40集、12月(共著)

【学会発表等】

- "Innovation and Human Capital Accumulation in an Endogenous Growth Model,"The Fourth International Symposium on Multinational Business Management
—Business Management in the New Economy, Nanjing University (China), May.
「イノベーション、人的資本および経済成長:理論と実証」、日本経済学会2002年度春季大会、小樽商科大学、6月
「長期経済成長に関する理論的分析」、日本地域学会第39回年次大会、北星学園大学、10月

吉 田 勝 弘 【論文】

- 「リースバックの会計」、早川豊編『保守主義と時価会計』、同文館出版所収、3月